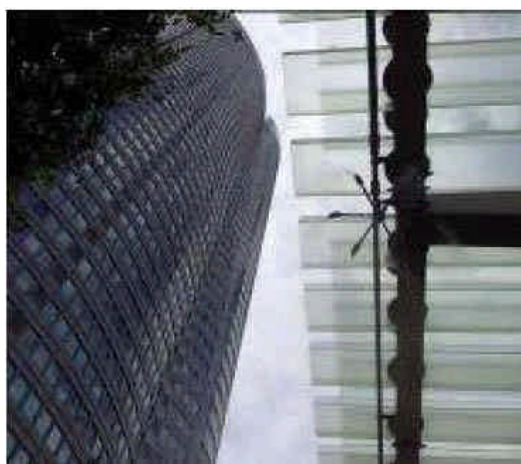


梅雨の中休み 今年最高 29 度の「夏日」に 六本木ヒルズの「ドライミスト」が本日より初稼働 次世代省エネルギー型冷却装置システム

東京での日中最高気温が 7 月中旬並の 29.1 度^{※1} が観測された本日、六本木ヒルズのドライミストが噴射条件を満たし 13 時 20 分に今年初めて稼働しました。昨年より 16 日早い稼働^{※2}となります。

森ビル株式会社では、来街者の快適性向上および省エネルギー推進の観点で、2006 年夏からいち早く省エネルギー型外気冷却システム「ドライミスト」を六本木ヒルズに導入しています。ドライミストは噴霧エリアの気温を約 1～3℃低下させる効果があります。



ドライミスト噴霧風景 (本日 6/4 16 時撮影)

周囲の気象を観測し運転を自動制御することにより快適な環境を維持します。

六本木ヒルズ・ドライミスト噴霧条件

	噴霧開始条件	噴霧停止条件
気温	27.5℃以上	25.5℃以下
湿度	70%未満	75%以上
風速	4m/s未満	4m/s以上
降雨	なし	あり

消費電力量がエアコンの約 1/30 で環境負担が軽い

「ドライミスト」は、ベタツキを感じないほどの超微細な水滴(ミスト)をノズルから噴霧し、その水滴の気化熱によって冷涼感が得られる装置です。消費電力量がエアコンの約 1/30 と環境負担が軽く、2005 年の「愛知万博(愛・地球博)」で暑さ対策の一環として導入され、その後もヒートアイランド対策として自治体が装置導入に補助金を設けるなど、次世代の省エネルギー型冷却装置として注目されています。

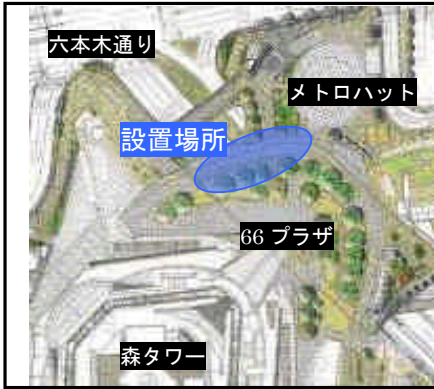
※1 2013年6月4日14時 気象庁発表より

※2 昨年は6月20日に初稼働

<本件に関するお問合せ先>

森ビル株式会社 広報室 深町

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp



<ドライミスト設置概要>

- 設置場所: 66 プラザの一部区画(約 30m)
- 設置位置: 地表約 3.5m の高さに 3m 間隔(計 9 カ所)
- 噴霧面積: 約 180 m²
- 噴霧時間: 8:30~18:30
- (※)噴霧開始条件: 気温 27.5℃以上、湿度 70%未満、風速 4m/s 未満、降雨なし

■ 「ドライミスト」システムの主なポイント

2~3℃の冷却効果

樹木からの蒸散で気温が下がる原理を応用し、ノズルから噴霧される超微細な水滴の気化によって、噴霧エリアの気温をおよそ 2~3℃低下させる効果があります。

濡れた感覚がほとんどない微細ミスト

ミスト粒径は 16 μm (16/1000mm) と小さく、噴霧量はクスノキ林を想定した量となっています。このため、噴霧されたミストは完全に気化し、衣類や肌が濡れるベタツキ感はほとんどありません。

省エネルギー性

消費電力量はエアコンの約 1/30 と環境負担が軽く、次世代の省エネルギー型冷却装置として注目されています。

ヒートアイランド現象の緩和

街区に広範囲に設置することで、夏季における都市のヒートアイランド現象を緩和する効果も期待されています。

